

研究課題名	高齢子宮内膜癌患者に対する低侵襲手術療法の予後に関する多施設共同観察研究
研究の意義・目的	<p>本研究では 70 歳以上の高齢子宮体癌患者さんに対する、開腹および腹腔鏡手術や、リンパ節郭清（リンパ節を取り除くこと）の省略など低侵襲手術が予後に与える影響について検討します。</p> <p>子宮体癌では子宮全摘出術および両側付属器摘出（卵巣および卵管の切除）に加えリンパ節郭清術が施行されることが多いですが、全身状態が不安定な高齢者では、できる限り侵襲を抑えた腹腔鏡手術が広く行われています。しかしながら本邦では子宮体癌 IA 期のみ腹腔鏡手術の適応となっており、IB 期以上では開腹術を選択することになります。高齢者において腹腔鏡手術の有用性が示されればより侵襲の少ない（身体への負担が少ない）治療を選択することができるようになります。</p>
研究を行う期間	倫理委員会承認後～2023 年 3 月 31 日
研究協力をお願いしたい方（対象者）	2005 年 1 月 1 日～2020 年 6 月 1 日に大阪市立大学医学部附属病院の婦人科で、子宮体癌に対して子宮全摘出術を受けた 70 歳以上の患者さんが対象となります。
協力をお願いしたい内容と研究に使わせていただく試料・情報等の項目	<p>診療の過程で得られた下記項目を本研究に使用させてください。</p> <p>診療情報等：【病歴、診断名、年齢、BMI、手術日、術式、手術進行期、病理組織名、手術合併症、予後に関する情報】</p>
試料・情報の他機関への提供	特定の個人を識別できない形で、共同研究機関大阪医科大学婦人科に対し、頂いた情報を提供します。
この研究を行っている共同研究機関	<p>大阪医科大学 産婦人科学 講師（准） 田中 智人  産婦人科学 助教 古形 祐平  産婦人科学 助教（准） 寺田 信一  産婦人科学 助教（准） 宮本 瞬輔  産婦人科 レジデント 西江 瑠璃</p> <p>共同研究機関</p> <p>大阪警察病院 産婦人科 医員 清田 敦子  泉大津市立病院 産婦人科 医員 田中 和東  神戸大学医学部附属病院 産婦人科 医員 高橋 良輔  大阪国際がんセンター 産婦人科 医員 前田 通秀  神戸市立医療センター中央市民病院 産婦人科 医員 水野 友香子  奈良県総合医療センター 産婦人科 医員 上林 潤也  和歌山県立医科大学 産婦人科 医員 平山 純也  奈良県立医科大学 産婦人科 医員 木村 麻衣  大阪市立大学 産婦人科 医員 市村 友季  京都大学医学部附属病院 産婦人科 医員 中川 郁  京都府立医科大学 産婦人科 医員 寄木 香織  滋賀医科大学附属病院 産婦人科 医員 信田 侑里  大阪市立総合医療センター 産婦人科 医員 駿河 まどか  京都府立医科大学附属北部医療センター 産婦人科 医員 山下 優</p>

	<p>京都第二赤十字 産婦人科 医員 加藤 聖子  関西医科大学 産婦人科 医員 佛原 悠介  近畿大学奈良病院 産婦人科 医員 西岡 和弘  天理よろづ相談所病院 産婦人科 医員 松原 慕慶  大阪大学 産婦人科 医員 上田 豊</p>
<p>試料・情報を 管理する責任 者</p>	<p>大阪医科大学 産婦人科学 講師（准） 田中 智人</p>
<p>本研究の 利益相反</p>	<p>利益相反の状況については大阪市立大学利益相反マネジメント委員会に報告し、その指示を受けて適切に管理します。本研究に関連し開示すべき利益相反関係にある企業等はありません。</p>
<p>研究に協力を したくない 場合</p>	<p>下記に連絡することでいつでも本研究への協力を拒否することができます。また、研究への協力を断っても、診療に関する不利益等を受けることはありません。</p>
<p>連絡先</p>	<p>大阪市立大学大学院医学研究科女性病病態医学講座  （担当者氏名）市村 友季  電話番号：06-6645-3862  メールアドレス：obandg@med.osaka-cu.ac.jp</p>